

開業から90年ぶりのリニューアル

12月11日(日)東急池上線戸越銀座駅「木になるリニューアル」が竣工

～多摩産材の木材を使用し、地域の皆さまの意見を参考に木造駅舎の趣を踏襲した駅が完成～

東京急行電鉄株式会社

当社が2015年9月から着手している、地域の皆さまの想いを継承した戸越銀座駅のリニューアル「木になるリニューアル」が、12月11日(日)に竣工します。また同日、竣工を記念したセレモニー「TOGOSHI GINZA RENEWAL -想いをつなぐ-」を、戸越銀座商店街連合会と連携して実施します。

今回のリニューアルでは、駅をご利用されるお客さまや地域の皆さまのご意見を参考に、1927年10月の開業から約90年の年月を刻んだ戸越銀座駅の木造駅舎の趣や想いを継承した改修工事を実施しました。東京都内で生産される多摩産材をふんだんに使用し、環境に配慮しながら駅舎の内外装をリニューアルしたほか、ホーム全体に屋根をかけるためのホーム屋根の建替えと延伸、男女トイレの建替えや出入口のバリアフリー化などを実施しました。また、地域の皆さまとともに製作した木製ベンチや、今回新たに製作した駅シンボルマークやのれんの設置なども行いました。

リニューアル工事では、多摩産材を約120m³使用することで、鉄骨造に比べて建設段階の二酸化炭素放出量を約100t削減するほか、木材使用による炭素固定化により約70tのCO₂削減に寄与しています。また、木材利用を通じて、「植える・育てる・使う・植える」という森林資源の循環利用を促進し、東京都の森林・環境保全に貢献しました。

なお、本事業の一部は、当社が「平成27年度東京都森林・林業再生基盤づくり交付金事業」において採択を受け、同事業の補助により実施するもので、都内の鉄道施設としては初めての事例となります。

竣工セレモニーでは、竣工式典の開催のほか、戸越銀座駅の旧ホーム屋根の木材を使用した記念グッズの抽選会や、クリスマスリース製作などのワークショップを含む「多摩の森の勉強会」などを開催し、地域と一体となってまちを盛り上げます。

当社はこれまでに、多摩産材の原産地である東京都あきる野市での環境学習「多摩の森とつながるツアー」や、地域の皆さまに駅への想いを綴って頂くイベント「想いが実になる木」、東京大学と連携し、まちの更なる魅力を発見するためのワークショップの開催など、さまざまな施策を展開してまいりました。今後も、地域にお住まいの皆さまに愛される駅および沿線づくりに取り組み、更なる沿線の活性化に努めていきます。



リニューアルしたホーム屋根



リニューアルした駅内装(五反田方面駅舎)

以上

本リリースに関するお問い合わせ先

東京急行電鉄株式会社 社長室 広報部 広報課 報道担当 電話:03-3477-6086

【別紙1】

池上線戸越銀座駅リニューアル「木になるリニューアル」概要

《全体概要》

- 建物名称： 池上線戸越銀座駅
 - 所在地： 東京都品川区平塚2丁目16番1号
 - 工事内容：
 - ・駅舎内外装の改修
(駅舎の内外装をリニューアル)
 - ・ホーム屋根の建替え・延伸※
(ホーム全体に屋根がかかりました)
 - ・トイレの建替え※
(男女トイレの出入口までの段差を解消)
 - ・木製ベンチ設置
(地域の皆さまと駅へのメッセージを書き込み塗装した木製ベンチを製作し設置しました)
 - ・駅シンボルマークおよびのれんの設置
- ※印の工事には多摩産材を活用しています。
- 着 工： 2015年 9月
 - 竣 工： 2016年 12月



戸越銀座駅のシンボルマーク

※まちの情報発信機能として、2017年春に戸越のまち歩きが楽しめるマップを設置予定。



駅舎イメージパース

《多摩産材概要》

東京都内の多摩地域で生育し、生産された木材を「多摩産材」と呼びます。東京は、総面積の約4割を森林が占める自然に恵まれた世界でも有数の大都市であり、地場の多摩産材を活用することは、水源のかん養や災害の防止、二酸化炭素の吸収などの多面的な機能を発揮する他、東京における持続的な森林整備と林業振興にも繋がります。



「多摩産材」ロゴマーク



「多摩産材」イメージ

【別紙2】

木になるリニューアル竣工セレモニー「TOGOSHI GINZA RENEWAL -想いをつなぐ-」概要

12月11日(日)に戸越銀座商店街連合会と連携し、駅リニューアル工事竣工セレモニーを実施します。

《全体概要》

- 名称: 「TOGOSHI GINZA RENEWAL -想いをつなぐ-」
- 日時: 2016年12月11日(日)14時開始(予定)
- 場所: 戸越銀座駅および戸越銀座商店街
- 開催内容: ①「TOGOSHI GINZA RENEWAL -想いをつなぐ-」竣工記念式典
②竣工記念餅つきと振る舞い
③「多摩の森の勉強会」の開催
④キャラクター大集合(戸越銀次郎、のるるん他)
⑤記念グッズの抽選会・冊子「トゴシノ」
(別紙3これまでの取り組み③参照)の配布
※数量には限りがございます。

※竣工セレモニーの詳細につきましては決定次第お知らせいたします。



竣工告知チラシイメージ



多摩の森の勉強会イメージ

【別紙3】

これまでの取り組み①: 旧駅へのお別れイベント「想いが実になる木」プロジェクト概要

約90年ぶりの駅リニューアル「木になるリニューアル」の実施にあたり、地域および駅をご利用されるお客さまに「戸越銀座駅との思い出」や、「新しく生まれ変わる駅へのエール」などの想いを綴って頂き、大きな「想いが実になる木」を完成させるイベントを開催しました。またイベントで頂いたメッセージを基に、木になるリニューアルメモリアルボード※を製作し、竣工後も駅に設置します。

《全体概要》

- 名称: 「想いが実になる木」プロジェクト
- 目的: 駅リニューアル工事に際し、これまで駅がお客さまと育んできた「想い」を顕在化させ、リニューアルを楽しんで頂く。
- 実施期間: 2016年2月～2016年6月
※2016年10月まで満開となった「想いが実になる木」をホーム上に掲出。
- 実施場所: 戸越銀座駅五反田方面改札前
- 参加者: 地域の皆さまおよび駅をご利用される皆さま
- 参加方法: 駅に設置した「想いの実シール」にメッセージを記入して頂き、壁面に掲出したボードに張り付けて頂きました。
- 実の数: 計822個の想いの実(計5本の木がホーム上で満開となりました。)
※メモリアルボードの枠には旧ホーム屋根の木材を使用し、旧駅舎の歴史を継承します。



想いが実になる木(想いを育み中)



想いが実になる木(完成時)

これまでの取り組み②: 多摩の森とつながるツアーの概要

駅リニューアル工事をまちに開き、地域の皆さまと一緒に駅をつくりたいという観点から、工事で使用する多摩産材の原産地(あきる野市)見学を行いました。山林や原木市場、製材工場の見学の他、工事竣工後30年間に渡って木を育てていく植林ツアーを開催し、日本の林産業や東京都の山林について理解を深める等、地域の方々と産業・環境学習を行う場を創出しました。

《全体概要》

- 名称: 多摩の森とつながるツアー
- 目的: 地域の皆さまと駅リニューアルに使用する木材の原産地を見学することで、戸越銀座駅成り立ちへの理解や産業・環境学習の場を提供する。
- 内容: 山林見学、原木市場見学、日本及び東京の林業の現状、木の伐採見学、植林体験、製材工場見学、プランターコースター製作ワークショップ
- 実施時期: ①2015年12月20日(日)、
②2016年6月25日(土)(計2回)
- 参加者: ①34名、②25名



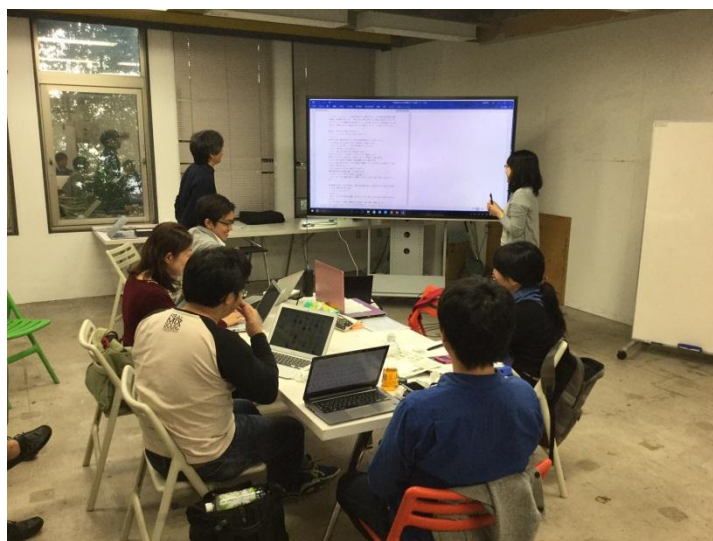
これまでの取り組み③:まちの更なる魅力を発見する東大連携ワークショップの概要

東京大学GCL(※)プログラムと連携し、戸越で生活する人々にフォーカスし潜在的なまちの魅力や価値、可能性を発掘し、マチとエキのあるべき姿を現代的なコミュニティ・デザインの観点を変えた方法で提示するワークショップ(以下、「WS」と言う。)を開催し、GCL 学生を中心とした学生グループによる戸越で生活されている皆さまへのインタビューや、将来のマチとエキの関係性に関する提案を実施しました。最終的な成果物は冊子『トゴシノ』に纏め、12月11日の竣工セレモニーで配布いたします。

※東京大学の9研究科17専攻からなる博士課程教育リーディングプログラムで、総合的な視野と、独創的な発想を備え、産学官の各方面でグローバルに活躍するリーダーの育成を支援するもの。

《全体概要》

- WS名称: 「コミュニティボイスから考えるマチとエキの関係性
～戸越銀座駅「木になるリニューアル」を契機としたマチとエキの未来～」
- 目的: 戸越で生活をしている人々のマチに対する考えや想いを顕在化させると共に、学生による将来のマチとエキの関係性の提案を行うことで、戸越の更なる魅力向上に貢献する。
- 実施時期: 2016年7～10月(計4か月)
- 参加者: 東京大学学生7名、インタビュー対象者6名
(東京大学都市工学専攻 小泉秀樹教授、近藤早映先生と連携して実施。)
- 成果物: 2016年12月11日(日)の竣工イベントの際に、まちの方々へのインタビュー内容や学生による提案を纏めた冊子『トゴシノ』を発行します。



ワークショップの様子

■いい街 いい電車 プロジェクトとは・・・

「いい街 いい電車 プロジェクト」とは、選ばれる沿線日本一に向け、沿線のみなさまとの近くて良い関係「近イイ関係」を目指すプロジェクトです。駅がもっと身近になる活動を通して、愛着のある「いい街」と、いつでもどこでも安全に移動できる、安心・快適な「いい電車」の実現に向け、積極的に活動します。

